

Weekly Report 2023-2024



創立 1969年4月14日
承認 1969年4月23日
チャーターナイト 1969年11月9日
発行 IT・広報委員会

世界に希望を生み出そう

会長：磯崎裕騎 / 幹事：吉岡哲哉 / 副会長：村上義憲 / 会長エレクト：江島繁夫 / 副幹事：岩本達也 / S.A.A: 堀井実

今週のプログラム	第2569回	9月15日
新入会員卓話「経営コンサルタントになってわかったこと」白川会員		
担当者	S.A.A.	例会場 JRホテルクレメント高松

先週のプログラム	第2568回	9月8日
卓話「ロータリー生活40周年を振り返って」住谷会員		
担当者	会長・幹事	例会場 JRホテルクレメント高松



磯崎会長挨拶

・ こんにちは。今日は二十四節気の白露だそうです。空の雲は少し前から秋の形に変わっていますが日差しと気温は相変わらずまるで夏のままだったようですが確かに今朝は秋の気配濃厚で季節の移り変わりを感じさせてくれました。

先週の土曜日に国際ホテルにて米山協議会がありました。これについては後ほど一緒頂いた米山委員長の住谷さんより報告があると思います。歴史ある米山奨学金制度を絶やさないように地区役員の方は頑張っているんじゃないかと思いました。

加えて今日は会員卓話としても今月会員歴40年を迎える住谷会員に貴重なお話を頂けるようでありがとうございます。どうぞよろしくお願い致します。

さて今週の火曜日には高松東ロータリークラブに吉岡幹事と一緒に訪問して参りました。昨年の家族例会に当時の会長エレクト藤井様が参加していたのを覚えていらっしゃると思います。彼から今後仲良くしていきたいと提案がありました。そのうち合同例会もいよいよと言われていましたので今期、理事会を経てまずは会長幹事の相互訪問から始めることにしました。会長幹事経験者や他クラブにメーキャップに行かれた方はそれぞれのクラブに特色があり参考になることも多いとお気づきだと思います。東ロータリーは西ロータリーと大きく違うのが出席率です。東はホーム例会にも参加は多いのですがメーキャップを含めるとほぼ毎回100%だそ

うです。これは参考にさせて頂きたいところです。加えてロータリーの基本である知り合いを増やして奉仕の機会を増やすことができますが、私のような人見知りの人間にとっては他クラブへの訪問にはハードルが高いと感じることもあると思いますのでこのような交流の機会を持って知り合いを増やすことは良いことだと思います。東クラブの藤井会長は早速相互訪問として来週、9月15日に当クラブに訪問頂けると聞いておりますので交流を増やしていきたいと思っております。

もちろん当クラブにはグリーンロータリークラブと言う非常に優秀な子クラブがありますのでこちらとの合同例会も日程調整しておりますので決まり次第皆様にお知らせしますのでどうぞよろしくお願い致します。

吉岡幹事報告

報告 デジタル出欠表の入力の仕方を変更しました。

- ① 緑色の●【出欠を入力する】をクリック
 - ② ご自分の名前を入力
 - ③ 出欠確認(○×△)
 - ④ 入力日を入力
- 宜しくお願い致します。

回覧 高松中央ロータリー年次計画書

バギオだより

高知ロイヤルロータリークラブ例会場変更のお知らせ

9月15日 今日は何の日	今日生まれの有名人名	
ふとんの日/マスカットの日/お菓子の日	1977年 アンジェラ・アキ	1890年 アガサ・クリスティー
1600年 関ヶ原の戦い	1953年 竹下景子	1825年 岩倉具視
1830年 リバプール・マンチェスター間に鉄道	1896年 土光敏夫	0767年 最澄
誕生花	マルメロ、花言葉は“誘惑”	
誕生石	アメシスト(amethyst)、宝石言葉は“心の平和”	

<p>それでこそロータリー</p> <p>どこで会っても やあと言おうよ</p> <p>見つけた時にゃ おいと呼ぼうよ</p> <p>遠いときには 手を振り合おうよ</p> <p>それでこそ ローローロータリー</p>



ニコニコBOX	
運動学習支援教室を三条町にオープンしました。	住谷
江島先生、昨日はお声がけ有難うございました。	岩本
遅刻	1件
合計 3 件	
本日の合計	6,500 円
2023-2024 年度累計	223,000 円

出席報告		出席委員長：低田陽介	
会員数 /	41 名	出席規準数 /	39 名
出席者数 /	17 名	欠席者数 /	22 名
出席率 /	43.59%	ビジター /	1 名
最終出席率 /	8 月 25 日	52.85% →	66.67%

ビジター	
小豆島RC	谷久 浩一 様

メイクアップ	
9月 2日	米山協議会 磯崎 住谷
9月 5日	高松東RC 磯崎 吉岡
9月 7日	高松RC 石川 藤田

ご案内	
野口会員のご子息野口哲哉さんが、Eテレ「日曜美術館」：“実物大”で迫る!レプリカ「夜警」のゲスト解説者として出演されました。	
再放送は9月17日20:00～20:45にありますので、ぜひご覧ください。また「NHK+」でも配信しています。	
	
	

facebook	
facebook でたくさんの写真を公開していますのでぜひご覧ください。	
http://www.facebook.com/TakamatsuWestRC	

IT・広報委員会よりお願い	
週報に掲載させていただく記事・原稿を募集させて頂きたく会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。	
題目は自由として、できるだけ多くの皆様に近況報告も含め各業界分野の話、身近な随筆、提言等どんなお話でも結構です。投稿していただきます様、宜しくお願ひ申し上げます。	

次週のプログラム	第 2570 回	9 月 22 日
会員卓話		
担当者	プログラム委員会	例会場
		JRホテルクレメント高松

5. 他の団体と功を争うな

It is manifest that Rotary could not hope to compete successfully with the commercial clubs nor with the charitable organizations in their respective fields. It may also be freely admitted that Rotary falls for short of doing all that it might do within the limits of its objects.

商業営利的クラブや慈善事業団体が、それぞれその目的としている分野に於て、ロータリーがこれと功を争おうなどとするものでないことは明かだ。ロータリーはその目的とする範囲のことをすればいいのであって、それ以上の何事にせよ力及ばずとも一向差支えない。

ポールによれば、ロータリーの目的としている所は、人種、言語、国境を越えた友愛=friendship=である。ロータリーの目的を奉仕として把らえるのが今日一般通念となっているが、奉仕の根底にあるものはやはり友愛ではないだろうか。最初仲間同志の友愛で出発したロータリーが、友愛の対象を広く社会一般に広げて行った時、そこに奉仕—Service above Selfが生まれるのである。対価を求めない奉仕という行為なくして真の友愛が生まれるわけがないではないか。そこで終始一貫ロータリーにとっては親睦ということがクラブの骨格を成している。その骨格に「奉仕」という肉をつけ、これを活動させる為に「情報」という血を通わせているのがロータリー・クラブなのではなからうか。

だからロータリーは職業人の集りではあるけれども、商工会議所や各種の同業者団体とも違ふし、奉仕を目指して結集した団体ではあっても、また他の慈善事業団体とも明かに違ふのである。今日でも心ある人々が繰り返し、「ロータリーは寄附団体ではない」と警告しているのはその意味でもまことに重要なことなのである。ところが人間は、何事につけつい眼に見える形だけで価値判断をし勝ちである。勲一等は勲五等より偉いと考えるのだ。慈善事業の規模、寄附の額でロータリーを評価してはならない。他の団体とそんなことで功を争うべきものでないことは言うまでもない。同様に、各クラブの間でも、今日では何か表に現れた数字だけで競争しあっている嫌いがあるのではなからうか。心すべき問題である。

この言葉はロータリーを離れて、人生の生き方という点から言っても大事な教訓であろう。自分は、自分の人生をどう生きようとしているのか…右顧左晒する必要はない——人生に於て一番大事なものは何なのか、土性骨をすえて自分の人生を見極め、堂々と自分の道を行けばいいのである。つまらぬことを他人と比較して劣等感を持つなど愚の骨頂だ。

